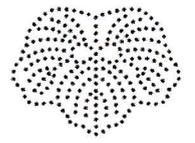


「リウマ伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に向う。という気持ちでお届けしています。



リウマ伝

69号
2025年8月27日
高野亮馬

「大役を終えて」

「なんで？お前がそんなことするんか？」とか「お前食べていけんのか？」とかお客様にも心配さしながらも伊都倫理法人会の会長職を全うできそうな高野です。倫理法人会は全国に7万社福岡県下でも四十社が集結する経営者団体で、私が糸島を中心に活動する伊都倫理法人会の会員(15社)を束ねる会長職を任されたのは3年前のこと。

「頂くことになりました。」

「会長をすると大変なことが沢山起こるよ」と言われた通りでした。家庭では母と同じ居しての介護生活が始まり、娘の高校受験。そして実家の売却から母を施設へ入れる決断まで目まぐるしい3年間でした。

仕事の合間に会の活動、そして子ども達と母の送迎に飛び回っていました。今思えば家族の結束が試されてきたようにも感じますし、それが出来たからこそ、上手く行ったのだと思います。

また、本業とは別に事業を営んでいるような感覚にも陥りました。役を受けることで負荷がかり、今まではない集中力、直観力のようなものが身についたように感じ

ます。そうでもしないと仕事が終わらないからです。

それに会の活動はボランティアなので、ただやらせても金銭は得られません。むしろ、やればやるほど自分の首を絞めることになっていきます。

それは会長以外の幹事さんと同じです。だから、その給料も渡さなくても働いてもらえ、ような扱ひ方が求められ、ました。

それは金銭ではない報酬を感じてもらおうことです。当初は「やりがい」をどうやったか理解してもらえ、るかはわかり考え、ていたのですが、教育や説得では人は動いてくれない、ま、せん、で、した。人は皆、指示されるのが嫌だからです。

そんなことよりも指示を出す自分が「笑顔」でいる、ことの方が大事で、さも簡単なかのよう、に、難、しい、お、願、い、を、す、る、こ、と、そ、う、に、動、い、て、頂、く、コ、ツ、なのかな？と思、い、始、め、た

矢先での卒業です(笑)。

お蔭様で会長に求められた「仲間作り」の目標は3期連続で達成しました。それを通じて、かけがえのない人脈も出来ました。

我欲を捨て、仕事と同じように取り組んだから、今、ま、で、見、え、な、か、た、世、界、が、見、え、る、よ、う、に、な、り、ま、し、た。

幹事さんはじめ、支えてくれた全ての方に、この場をお借りして御礼申し上げます。



たかの財形事務所
〒819-0374 福岡市西区千里 707-13
☎090-3407-2123
<https://www.takanozaikai.com> x-11 fp.takano@gmail.com